

橘ときわ子

学校だより第13号
令和8年1月8日
武雄市立橘小学校
校長 坂井 文明



— やればできる みがけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆チーム担任制 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT活用教育・学びのDX化の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

新年あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。

本年も昨年同様変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いします。

楽しい冬休みにするために、「感染症予防に努め、交通安全に気を付けて、健康で安全な、規則正しい冬休みを送りましょう。」とお願いしていました。

1月8日に登校してきた子どもたちの様子からは、大きな事故や問題行動もなく、楽しい冬休みを見事に過ごすことができたようです。家庭・地域のご協力と子ども達のがんばりがあったからだと思います。ご支援誠にありがとうございました。

1月から3月が勝負！終わりよければ、すべてよし！

「1月は行く」、「2月は逃げる」、「3月は去る」、といわれ、1月から3月は、あっという間に過ぎるでしょう。しかし、1～5年生は次の学年に6年生は中学生になるための大切な時期です。「終わりよければ、すべてよし」ということわざがあります。物事は最後の結果さえよければ、その過程での失敗などは問題にならないという意味です。だから1月から3月が勝負の期間なのです。次の3つのことを振り返ってみましょう。

- ① 生活の振り返りをしよう！ あいさつ・返事 凡事徹底はできていますか。
- ② 学習の振り返りをしよう！ 自分の課題は何か？ 苦手なところを結果で終わることなく、そこを克服し次年度に向けて、ステップアップしましょう。
- ③ たちばな愛と人を思いやる力は育っていますか？ 3つの和、「学校」「家庭」「地域」を大切に、感謝の気持ちと人を思いやる力は燃え続けていますか。

以上の3つの意識を持続させ、令和8年の心の金メダルをたくさん取ることができればと思います

今年の干支は、60年に一度の丙午（ひのえうま）

2026年は干支によると、60年に一度しか回ってこない丙午（ひのえうま）の年です。「うま」は太陽が最も高く昇る時刻を表す文字であり、活力・情熱・行動力の象徴とされています。つまり、今年のうま年は、「飛躍や前進を象徴し、活力・成功・繁栄・勝負運に恵まれる」年で、特にひのえうまの年は、「太陽のような明るさや情熱、エネルギーが満ち溢れた縁起の良い」年とされています。すごい年なのですね！

人権集会

12月3日（水）8：20～9：25に、全校の児童が楽しく学校生活を送れるように人権意識を高めることを目的として人権集会を行いました。武雄市人権標語コンクール入賞者の発表や各クラスの「なかよし合言葉」の発表をした後、法泉寺住職の桃谷法信さんにギターで弾き語りをしていただきながら、人権に関わる話をさせていただきました。12月4日～12月10日の人権週間には、人権標語を書いたり、道徳の授業等で人権に関する取り組みを行ったりしました。人権集会後も給食時間の放送で、感想交流をしたり、学校生活で見つけた「おもしろキラリ」を放送したりして人権意識を高めました。

1年生昔遊び

12月5日（金）の1校時に、1年生昔遊びを行いました。老人クラブより、8名の方にお越しいただき、たこ揚げや竹とんぼ、けん玉やコマ回し、お手玉、メンコなどの昔遊びを教えてくださいました。竹とんぼは、回す向きや角度が大切であること、コマ回しは、ひもをきっちりかけ、ひもを引くタイミングが大切であることなどを丁寧に教えてくださいました。

3年生・4年生はがき教室

橘郵便局の野田局長さんによるはがき教室が12月8日（月）に行われました。子どもたちは、あらかじめ考えてきたおじいちゃんやおばあちゃん等の相手先にサポート用紙を使いながら書きました。裏面には、「あけましておめでとうございます。」の文字やイラストを描きしあげていました。

5年生しめ縄づくり

12月12日（金）の5校時に、5年生がしめ縄づくりを行いました。山田さんを講師に迎え、老人会の7名の方にお手伝いいただき、縄をなつて、飾りをつけて完成させました。正月飾りとして、小田さんから門松をいただきました。今年も安全でいい年になるでしょう。

